

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表：2024年3月27日

事業所名 デイサービスみどりそよ風(児童発達支援) 保護者等数4(児童数5) 回収数 3 割合 75%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3	0	0	0	庭も広く、室内も十分なスペースが有りとても良い環境だと思います。	引き続き子どもたちが安心して遊べる環境づくりをします。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	3	0	0	0		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	2	0	0	1		保護者とのモニタリングや担当者会議を通じて、ニーズや課題に応じた支援計画作成を進めます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	0	0	0		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	0	0	0		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3	0	0	0		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	0	0	1	近くの公園へ遊びに行くと、隣の保育園の子達と自然と一緒に遊んだり、関わる場面がある。	子どもたちの状況に応じて、交流の機会などの保育内容を検討していきます。
保護者 への 説明	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3	0	0	0		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	3	0	0	0		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	3	0	0	0		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	3	0	0	0		
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3	0	0	0	半年に一回個人面談があり、利用日には毎回先生と話す時間もあり、アドバイスをたくさん頂けました。	半年に一回のモニタリングと、必要に応じて保護者との面談も行ないます。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	0	1		引き続き、定期的な保護者同士の交流会や学習会などを計画します。

等	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3	0	0	0		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3	0	0	0		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3	0	0	0		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	2	1	0	0		今後も個人情報の取扱いには細心の注意を払っていきます。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	3	0	0	0		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	0	0	0		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	2	0	0	1		
	23	事業所の支援に満足しているか	3	0	0	0		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所名 デイサービスみどりそよ風（放課後等デイサービス） 保護者等数22(児童数25) 回収数 15 割合 68%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	2	1	0	音に敏感な特性があるけれど、部屋が2つで仕切りも板戸のみなので、大きな声の子が来ると逃げ場がなかったようです。	子どもの特性を踏まえて、現在の環境で対応できるやり方を検討していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15	0	0	0	話を聞いてもらって助かっています。	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	8	1	1	車椅子の子が居ないから問題ないです。 出入り口の階段わ2、3段ですが、手すりなどありません。 相原郷は老朽化が進んでいるとおもいます	引き続き、整備補修が必要な箇所は随時補修していきます。 お気付きの点がありましたらスタッフにお伝えください。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	15	0	0	0		
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	15	0	0	0		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	3	4	4		引き続き、児童館の利用や地域の公園での子ども同士の交流の場を作っていきます。
	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	0	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	15	0	0	0		

保護者への説明等	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	0	0	0			
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	4	6	1		父母同士の交流の機会が作れるようプログラムを検討していきます。	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	0	6		苦情を言ったことがないのではありません。	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	0	1	1		よりお互いの意思や情報等を伝えあえるよう努めます。	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	1	0	0			
	14	個人情報に十分注意しているか	14	0	0	1		引き続き、個人情報の取り扱いには細心の注意を払っていきます。	
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	3	0	1		入所説明である程度聞いているけどいざと言う時に忘れていた事があるので、定期的に確認しあえたらと思います。	マニュアルの変更や保護者から問い合わせがあった際には、周知や確認ができるようにしていきます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	2	1	5			定期的な訓練を実施し、また保護者に分かりやすく周知していきます。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	15	0	0	0		外遊び、おやつの時間を楽しみにしています	
	18	事業所の支援に満足しているか	15	0	0	0		本当に楽しんで参加できることで、安心して生活して成長してきたことも感じます。ありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。	

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

### 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日：2024年2月21日

事業所名 デイサービスみどりそよ風

公表：2024年3月27日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3			
	2 職員の配置数は適切である	3			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3		子どもの楽しいあそびから、運動や机上の活動などができるスペースを構造化しています。	引き続き、子どもの状況に合わせた環境づくりを進めていきます。
業務	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3		支援に携わる職員で行なっています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3		アンケートフォームなどを活用し、より多くのご意見を収集できるようにしています。	引き続き、事業所評価で得た意見をもとに業務改善につなげていきます。

改善	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	1	毎年、法人のホームページにて公表しています。	引き続き、自己評価を年1回行います。また結果を保護者に公表します。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3		必要に応じて、常勤職員と非常勤職員が研修を受けられるようにしています。	日々の支援の質向上のため、職員の研修の機会を設けていきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	3		毎回、振り返りを行ない次回のプログラムを立案しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3		前後半期に、療育計画を作成し、親子の実態から活動プログラムを検討しています。	引き続き、療育計画を作成し計画に沿った活動プログラムを検討していきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	3			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3		毎回保育前に打ち合わせを行なっています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3		毎回保育後に振り返りを行なっています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3		事業日誌に保育の振り返りや次回の目標を記録しています。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3		半年に1回を基本に、モニタリングを行なっています。		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3			利用される児童、保護者に対して必要に応じて関係機関と連携が取れるようにしていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	2		現在、医ケア児の利用がありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	2		現在、医ケア児の利用がありません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3		就園される児童に対して、就園先に引継ぎ資料の送付や、必要に応じて巡回訪問などを行なっています。	引き続き、就園の際には丁寧な引継ぎを行ないます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	2		現在、小学部へ移行する児童を受け入れていません。必要に応じて行ないます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1	利用児の関係機関や関係職員との連携を図っています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	隣接する同法人の保育所と合同で行事を行なっています。	

	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	1	定期的に協議会等に参加しています。	協議会の意義などを職員にも周知していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3		親子療育を通して、子どもの発達を保護者と共に捉えられるようにしています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3		親子の状況に応じて、必要な研修や学習会を保護者向けに行なっています。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	1	クラス懇談会を半年に一回行い。保護者同士の交流の場を作っています。	引き続き、クラス懇談会や保護者交流の場を設けていきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3		毎月、会報を発行しています。	引き続き、毎月の会報を発行し保護者に保育の予定などを丁寧に伝えていきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	3			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	法人内の全体行事に参加しています。	引き続き、地域に根差した事業所運営を行なっていきます。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3		マニュアルを作成し、保護者に周知しています。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3		定期的な訓練を行なうよう努めています。	引き続き、定期的な訓練を行なうよう努めています。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3		必要に応じ、保護者に状況表を記入していただき確認しています。	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3		保護者を通して、対応を確認し進めています。	
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3		記録用紙を作成し、日々の振り返りで出し合うようにしています。	引き続き、報告と記録、改善策の検討をし、事故防止に努めます。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3		虐待防止に関する研修を職員研修で行ないました。	引き続き、虐待防止に向けての研修を計画していきます。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3		身体拘束となる場合が予想される事項について、保護者に同意書をお願いしています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

### 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 2024年2月21日

事業所名 デイサービスみどりそよ風

公表: 2024年3月27日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			
	2 職員の配置数は適切である	4			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	3	バリアフリー化はされていないが、必要に応じて整備等を行なっている。	引き続き、整備が必要な箇所については随時整備を行いません。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4			
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		常勤職員、非常勤職員ともに研修の機会を設けています。	日々の支援の質向上のため、職員の研修の機会を設けていきます。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	4			
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		子どもたちにも意見を聞いて、活動内容に反映しています。	引き続き、子どもの意見も踏まえた活動内容づくりに努めます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4		子どもの集団に応じて、外出経験などのプログラムを行なっています。	引き続き、外出経験や社会経験ができるプログラムを計画していきます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		当日の出席、活動内容、予想される児童の姿を話し合っている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		毎回支援後に振り返りを行なっています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		個人記録と事業日誌に支援の振り返りを記録しています。	
関係機関や保護者	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			必要に応じて、担当者の開催及び参加をしていきます。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		保護者と情報共有、状況に応じて学校と直接情報共有をしている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	2		現在、医ケア児を受け入れていません。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4			
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	1		必要に応じて行うようにしていきます。

1 との 連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4		児童館の利用で地域の児童と関わる機会づくりをしている。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	1		協議会の意義、目的を職員に向けても周知していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4		保護者と送迎時などに直接助言等を行なっている。	個別な助言等のみでなく、研修など保護者集団への支援についての計画を検討していきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	1	帰りのお迎えは直接送迎としていることで保護者同士の交流がある。 今年度、計画をしましたが悪天候のため実施ができませんでした。	次年度も保護者交流の場の計画を検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		毎月会報を発行しています。	引き続き、毎月の会報発行を行ないます。
	35	個人情報に十分注意している	4			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	1	法人全体の行事に参加しています。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4		マニュアルを作成し、定期的な訓練を行なうよう努めています。	マニュアルの周知に努めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	1	定期的な訓練を行なうよう努めています。	引き続き、定期的な訓練を行なうよう努めています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		虐待防止に関する研修を職員研修で行ないました。	引き続き、虐待防止に向けての研修を計画していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4		身体拘束となる場合が予想される事項について、保護者に同意書をお願いしています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		保護者を通して、確認をして進めています。 アレルギー対応のために食品表示を確認しています。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		記録用紙を作成し、日々の振り返りで出し合うようにしています。	引き続き、報告と記録、改善策の検討をし、事故防止に努めます。	









